

令和7年度 第1回社会教育委員の会 議事要点録

- 1 日 時 令和7年7月24日（木）14：00～15：00
- 2 場 所 鈴鹿市役所本館12階 1205会議室
- 3 出席委員 池畑 直哉 岩崎 翔太 樋口 よしゑ 坂 友美 山本 信一 （以上5名）
欠席 衣斐 弘行 大西 依子
- 4 事務局等 文化スポーツ部長 宮崎 公浩
文化スポーツ部文化振興課長 柳井谷 光教
文化スポーツ部文化財課長 大窪 隆仁
文化スポーツ部図書館長 平田 千尋
地域振興部地域協働課長 松本 喜芳
文化振興課生涯学習 GL 小林 直子
文化振興課生涯学習 G 堀田 千尋（以上7名）
- 5 傍聴人 0人
- 6 会議概要 以下のとおり
 - （1）あいさつ
文化スポーツ部長よりあいさつ
 - （2）自己紹介
社会教育委員、市側出席者
 - （3）座長選出
樋口委員を座長に選出
 - （4）協議事項
令和7年度 社会教育分野の主要事業について 各課（館）長より説明

【質疑応答】

（岩崎委員）

文化振興課の地域家庭教育支援事業費のところ、5校で実施している放課後子ども教室について、これは例年実施しているということでしょうか。

（文化振興課長）

昨年度も同じところで実施しております。一昨年は白子でも実施していましたが、学校の空き教室の都合で、令和6年度から今の5校で実施しております。

（岩崎委員）

放課後子ども教室では、どのような活動をしているのでしょうか。

（文化振興課長）

例えば地域の歴史を勉強したり、キャンプをしたり、竹とんぼを作ったりなど、地域ごとに特色があります。放課後児童クラブとはまた違った、地域性のあるこどもの居場所づくりといたしますか、子ども会のようなイメージで、地域の方々に月1～2回程度実施していただいております。

(岩崎委員)

そういった交流があるのはいいことですよね。

親なびワークというのは、どういったことを実施しているのでしょうか。

(文化振興課長)

保護者の方が集まって、子育てに関する悩みや考え方などを、ファシリテーターの方に来ていただいて話し合っていただく講座です。話し合いのテーマはさまざまですが、学校や公民館などに出向いて実施しております。

(岩崎委員)

図書館の運営・サービス事業費について、電子図書館の開設については、いつ頃を予定しておりますでしょうか。

(図書館長)

今年度内で進めておりまして、秋から冬頃に皆様にご利用いただけるようになると思っております。

(坂委員)

社会教育基本計画 2031 について、各指標の目標値と実績値は、各年度 1 年間の数値という解釈でよろしいでしょうか。どうしても目標値になかなか達しないところが見て取れますが、何か要因があるのか、目標値が高すぎるのか、どうでしょうか。

例えば、図書貸出カードの登録者のパーセンテージというのは、鈴鹿市民全体を 100% として、23% の市民の方に登録いただいたということですが、これからは少子化なので、人口が減少して、いろいろな活動を積極的にやってもなかなか人が集まらないというのが、これからどんどん加速していくと思います。ですので、高い数値を設定すると苦しいのではないかと思います。工夫しないと人が集まらない。特に図書館の登録に関しては自動的に減るような気もしますので、そのあたりで何か令和 9 年度までに数値が増えるような取組が具体的にありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

(図書館長)

先ほど説明しました電子図書館について、利用は図書貸出カード登録者しかできないようになっており、ID やパスワードが必要ですので、逆に言えば、図書館に触れていただくための新たなきっかけとして、電子図書館をまず実施しようとしております。さらに 24 時間 365 日、図書館に行かなくても利用でき、民間業者でも電子書籍はありますが、少し違うものが鈴鹿でも実施するんだということから、登録者を増やしていきたいという数値を設定させていただいております。

(坂委員)

図書館ですと電子図書館という形で今後活動としてありますが、その他の生涯学習の活動として、電子で実施する取組はありますでしょうか。

(文化振興課長)

先ほど説明いたしました「まなベル」に関連して、三重県生涯学習センターで実施された講座のアーカイブ配信を実施いたしました。ただ人数については思うように伸びず、定員 30 名のところ 10 名弱ではありましたが、人によっては講座を受けたかったけれども会場まで行けないといったこともありますので、今年度初めてアーカイブ配信というのを実施しました。

(文化財課長)

文化財課も、郷土資料のデジタルアーカイブを、令和 6 年度にシステム構築し、今年度から一般に公開

しております。先ほどの説明で申し上げましたように、伊勢型紙などの市役所西館に収蔵している資料をインターネットで見ることができるというものになります。直接的に目標数値には反映するものではありませんが、それを見た方が資料館に行ってみようと思っていただけるといいなと期待しながら、この事業も実施しているところです。

（文化振興課長）

「まなべル」の申込み方法についても、何年か前まではファックスや電話でしたが、現在はインターネットで申込みができるような形にしております。

（樋口委員）

先日、土曜日に図書館が臨時休館となりましたが、築年数をお伺いすると結構長いですね。今後、建替えといったお話は何かありますでしょうか。

（図書館長）

今のところ、全庁的な計画として、市の公共施設につきましては公共建築物個別施設計画というのがございまして、図書館においては令和9年度までは今後のあり方をどうするか検討するという事で、具体的な計画はまだ出来上がっていないという状況です。

（坂委員）

臨時休館は何が原因でしたのでしょうか。

（図書館長）

漏電が起こりまして、感知機械が作動して通電が止まってしまいましたので、業者による調査を行ったのですが、抜本的に全部検査するためにはいったん停電しないと細かく全部系統を確認できないということでした。火災を起こしてはいけませんので、利用者の皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ないですが、急遽休館ということでお帰りいただきました。その日のうちに原因はコンセントの老朽化だということが分かりました。管理上の問題はなく、すぐに対応完了して翌日から開館しました。

（岩崎委員）

博物館や公民館も古くなっていますので、そういった計画も今後ありますよね。

（坂委員）

先ほどの関連で、図書館の築45年というのは、建築基準法の耐用年数が、コンクリートの建物は何年以内などあると思いますが、もう少し長いのでしょうか。

（図書館長）

躯体的には危険な建物ではないです。

（山本委員）

5年前に委員を務めていた際に、各施設を社会教育委員で見学しました。図書館、考古博物館、公民館等ですね。何か所か視察しました。それを踏まえて、状況はあまり変わっていないように思いました。施設の老朽化については5年前から言われておりましたので。亀山の図書館のように、施設が新しくなると良いですよ。

（樋口委員）

近くで華やかなものを見えていますので、つい思ってしまうですね。

ほかによろしいでしょうか。何なりと、気がついたことを各課に直接お伺いしていただいても結構ですのでよろしくお願いいたします。

今後とも見守っていただき、ご指導いただきたいと思います。

そうしましたら、本日の内容はご承認していただいたということでよろしいでしょうか。

それでは、以上で協議事項を終了させていただきます。

ありがとうございました。

(5) その他

令和7年度 鈴鹿市社会教育委員の活動について

(事務局)

令和7年度の鈴鹿市社会教育委員の活動について、事務局より説明をさせていただきます。

社会教育委員の活動として、鈴鹿市が年に2回主催する社会教育委員の会のほか、東海北陸社会教育研究大会、三重県社会教育委員連絡協議会北ブロック研修会があります。

東海北陸大会についてですが、今年は10月3日（金）に岐阜県で行われます。詳しくは、本日お配りした要項をご確認ください。そして、来年の東海北陸大会は三重県で開催となります。そのため、今年から実行委員会が立ち上がり、準備をしております。実行委員は大西委員にお願いさせていたしております。事務局は徳田が担当します。東海北陸大会に参加される方は、文化振興課までご連絡ください。

次に、北ブロック研修会についてですが、北ブロックの理事として、今年度は池畑委員に務めていただいております。今年12月4日（木）に菰野町で開催となります。詳しい内容につきましては要項が完成次第、送付させていただきます。来年度は三重大会も開催されますので、ぜひ皆さん、ご参加いただきますようお願いいたします。

最後に、全国社会教育研究大会が10月29日～31日に岩手県で開催されます。要項が2部しかございませんので、検討される方は、文化振興課までご連絡ください。 以上です。

それでは、これで令和7年度第1回鈴鹿市社会教育委員の会を終了いたします。

第2回の社会教育委員の会の開催は令和8年3月中旬を予定しています。

本日は、ありがとうございました。